

平成25年 3月13日

報道関係者 各位

米国の新型の核性能実験に対する抗議について

標記のことについて、米国がZマシンを使用した核性能実験を実施したとの報道に接し、抗議文を送付しましたので、お知らせいたします。

記

1. 添付資料 在日米国大使あて抗議文

2. その他

(参考)

これまでの島原市における抗議回数

	実施日	実施国
(新型の核性能実験)		
1回目	平成23年 5月24日	米国
2回目	平成23年 7月21日	米国
3回目	平成24年 1月10日	米国 (2度実施)
4回目	平成24年 9月20日	米国
5回目	平成24年 9月25日	米国
今回	平成25年 3月13日	米国
(臨界前核実験)		
1回目	平成24年12月10日	米国



有明海にひらく湧水あふれる
火山と歴史の田園都市 島原

担当：政策企画グループ

政策振興班 中村 憲一

電話：0957-63-1111 (内線 142)

E-mail：seisaku@city.shimabara.lg.jp

抗 議 文

2013年3月13日

在本邦アメリカ合衆国大使館
特命全権大使
ジョン・V・ルース 閣下

長崎県島原市長 古川 隆三郎

先日、貴国がニューメキシコ州のサンディア国立研究所において、昨年10月から12月の間に、2回のZマシンを使用した核性能実験を実施していたとの報道に接しました。

北朝鮮が3回目の核実験を強行し、国際社会の緊張が高まっているなか、貴国が核兵器の維持、開発につながる恐れのある核実験を繰り返すことは、全世界の核廃絶と平和への願いに反する行為であり、被爆県長崎の一都市として嚴重に抗議します。

「平和を希求し、核兵器の廃絶を願う」私たち島原市民の意思を厳粛に受け止め、貴国のオバマ大統領が提唱された「核兵器のない世界」の実現に向けて、核兵器保有と開発につながる全ての実験を中止し、21世紀を核兵器のない世紀とするため主導的な役割を担うことを強く要請します。

以上、本国へも伝達されるようお願いいたします。